

令和 6 年 3 月 31 日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

76

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分市皆 1160-46 北の浦団地
団体名 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ
代表者氏名 三島 典子
電話 090-2081-9558
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 13 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 5 年 8 月 28 日 |
| 交付決定番号 | 協働第 1096 号 |
| 2. 事業名 | 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 300,000 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 300,000 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 300,000 円 |

6. 事業の成果

本事業は、猫の殺処分ゼロを目指し、里親希望者と譲渡可能猫のマッチング、飼育アドバイス、医療ケア、情報発信などを行ったものです。

【1 譲渡会】おおいた動物愛護センター主催の譲渡会に参加し、行政と協力して里親希望者と譲渡可能猫のマッチングを行いました。

譲渡会に参加できない猫も引き取り、医療ケアと里親募集を行い、譲渡に繋がりました。

譲渡会では、猫の生態や飼育について正しく知ってもらうための情報提供を行いました。

【2 医療ケア】譲渡前に必要な医療ケアを行い、健康な猫を譲渡しました。

多少のハンディキャップのある猫も、適切な医療ケアと飼育アドバイスにより、家猫として生活できるようサポートしました。

【3 情報発信】猫の適正飼育や地域猫に関する情報を、大分動物愛護センター主催イベントや自団体主催の譲渡会などで発信しました。

野良猫問題の現状や、人と動物との共生について広く知ってもらうための啓発活動を行いました。

事業成果

- ・譲渡会開催数：おおいた動物愛護センター譲渡会 25 回、団体独自の譲渡会 8 回
- ・譲渡頭数：おおいた動物愛護センターはホームページ参照、団体としては 23 頭
- ・情報発信イベント開催回数：8 回

7. 添付書類
- (1) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3) その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	譲渡会サポートボランティアうちのこねこ			
事 業 名	譲渡会サポートボランティアうちのこねこ			
主な活動地域 ※該当する□に チェックしてく ださい。	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	通年	おおいた 動物愛護 センター	譲渡会に 参加の方	《ミルクボランティア》 おおいた動物愛護センターよりミルクボラン ティアの要請のあった子猫を団体として引き 受けた
	2回/ 月		平均10組 20名程度	《譲渡会サポート》 おおいた動物愛護センターが主催する譲渡会 で受付・猫のケア・写真撮影を行った 譲渡会時、里親希望者の飼育環境や先住猫を 確認しよりよい飼い方を提案したり里親希望 者と参加猫とのマッチングを行った 事前の猫の紹介や譲渡会時の様子をブログや SNSを利用して発信した
	年3回		各100名 程度	《猫まつり》 譲渡会以外の猫とのふれあいイベントにて運 営サポートおよび来場者への説明等
	通年	大分市	地 域 の 方々	《地域猫活動》 メンバーの居住区域での地域猫活動への参加 を受けアドバイスなどを施す
	随時	おおいた 動物愛護 センター	多数	《啓発活動》 動物ふれあいフェスタにてブースを出店し バザーやくじ引きなどの催しをした パネルにてTNR、地域猫の重要性を発信した 当日にも猫の里親募集を実施した
	随時	大分市	5名	《個人譲渡支援》 殺処分対象であった猫を引き取り団体として 里親募集を実施した
	毎月 (12月 より)	大分市、 その他	400名	《独自の譲渡会を開催》 譲渡会会場を提供していただいた挟間の会場 にて団体独自の譲渡会&相談会を開催
使用した 広報手段と その効果	☒ ホームページ ☒ チャック ☒ チラシ、広報誌 ☒ facebook等のSNS ☐ その他(具体的に) うちのこねこのブログ・Facebook、Instagram、Treads等SNS、チラシ			

	広報の効果 1. 譲渡会情報発信による効果 ・譲渡会出場猫の性格紹介 Instagram 等での情報発信により、里親希望者は事前に猫の性格や特徴を把握できるようになり、スムーズな譲渡につながりました。特に Instagram は多くの人に情報を届けられる効果があり、多くの里親希望者獲得に貢献しました。 ・譲渡会への問い合わせ増加 譲渡会出場猫の確認や飼育相談など、譲渡会に関する問い合わせが増加しました。これは、情報発信により動物愛護センターへの関心が高まったことを示しており、より多くの人とコミュニケーションが取れるようになったと思います。 2. 地域猫・多頭飼育問題啓蒙による効果 ・野良猫問題への関心向上 地域猫や多頭飼育問題に関する情報発信により、野良猫問題への関心を集めることができました。動物愛護意識の向上や、地域猫活動への参加促進に繋がったと考えられます。 3. その他の効果 ・動物愛護センターへの理解促進 積極的な情報発信により、動物愛護センターの活動への理解が深まりました。センターへの支援やボランティア活動への参加意欲を高める効果も期待できます。
活動目標の報告	子猫・成猫の譲渡会をよりよい環境で行い一頭でも多く確かな飼い主に譲渡されるよう支援、広報するとともに適正な飼い方の普及を目的としていた。 おおいた動物愛護センターとの協力や地道な活動により、猫への理解が高まっていることを実感しています。これは、譲渡会参加頭数や啓蒙活動参加者数の増加からの感じることができ、動物との共生する風土づくりに貢献できていると考える。
事業の成果	地域への効果について（対象地域にどのような効果があらわれたのかを記入） 保護猫の魅力を発信することにより動物愛護への意識の高まりを広められた。地域猫や保護猫の存在を広く情報発信をしたことにより野良猫に目を向ける方が増え今まで見過ごされてきた多頭飼育崩壊現場を改善しようとする動きがみられるようになった。 市民への効果について（市民福祉の向上にどうつながったのかを記入） 今年度も多くの猫が譲渡され、譲渡後の様子を SNS で発信したことによる反響も大きく関心を寄せる方が増えたと感じている。 猫と暮らすイメージをより良いものへ変えていけると実感した。 また、野良猫問題についてもアドバイスや話し合いによって意識が高まっていることも感じられている。
来年度に向けた課題	猫の保護は個人宅にて行うことが多く保護主の負担が課題である。 よりスムーズに譲渡をに繋げて個人負担を減らしていきたい。 団体独自の譲渡会の土壌もできているのでより多くの猫の譲渡を目指したい

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業名： 譲渡会サポートボランティア うちのこねこ

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	¥300,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会 費 収 入		
事 業 収 入	¥163,871	イベントバザー出店時の収益
寄附金収入	¥338,627	個人や団体からの寄付
そ の 他		
合 計	¥802,498	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費		
旅 費		
消 耗 品 費	¥91,166	猫のフード、猫砂他、インク代、用紙代 【内、補助対象外¥4,238】
燃 料 費	¥5,637	ガソリン代
食 糧 費		
印刷製本費	¥930	コピー代
通信運搬費	¥2,280	郵送代
広 告 料	¥2,200	新聞広告
保 険 料	¥4,550	ボランティア保険
手数料・委託費	¥659,718	猫の医療費、ごみ処理委託費【内、補助対象外¥80,041】
使用料・賃借料		
原 材 料 費	¥36,017	グッズ製作費【対象外年度外¥1,560】
備品購入費		
合 計	¥802,498	【内、補助対象経費：¥716,659】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。